

平成26年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	3. 市道I-49号線(佐倉城下町通り)整備事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額					5年間計画額	
臨時	単独	計画	21,000	△17,700	実施計画	第5章	「住環境が整備された住みやすいまちづくり」～都市 基盤整備の充実～	平成23年度	177,800	131,500
						基本施策3	道路環境が充実した安全で快適なまちにします	平成24年度	20,000	20,000
								平成25年度	23,000	23,000
						施策1	快適な道路環境に努めます	平成26年度	3,300	3,300
								平成27年度	0	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		3,300
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								3,300
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 弥勒町歩道整備工事 他付帯工事一式 おはやし館舗装工事を実施します。</p>	<p>(事業の目的) 歩道のフラット化や無電柱化を実施することにより、歩行空間を確保し、社会的交通弱者等の安全性、快適性及び地域の活性化の向上を図ります。城下町としての歴史的背景や景観を確保し良好な都市景観の形成に努めます。</p>	<p>(事業の効果) 歩道のフラット化整備により歩行者等の通行機能を確保することにより、市民生活の安全性や快適性の向上が図られるとともに、無電柱化により城下町としての良好な道路環境を生み出し、観光客の増加や交流を通しての地域間交流や地域経済の活性化を図ります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 城下町の道路であることから幅員が狭い。また、官民境界が未確定な箇所が多く、道路整備による沿線商店などへの利害関係の発生が懸念されます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、効率的な施工方法を経済的に検討し、最小の経費で最大の効果が得られるように努めます。</p>	<p>(見積についての特記事項) 平成14年度に千葉県から移管された路線であり、単なる道路改修ではなく、城下町としての歴史的背景や景観、地域住民の利便性の確保など、多様な角度から整備方針を検討し、事業を進める必要があります。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
13	3,300	0	3,300

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	14	02	03	01	01	00	社会資本整備総合交付金	0		7,700	△7,700
差引一般財源								3,300		13,300	△10,000